

2.4G 6ch Radio Control System

H-6 GF



お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-6206-0059**
電話受付: 月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)
受付時間: 10:30～12:00, 13:30～16:30
(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください)

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照ください>
www.gforce-hobby.jp



輸入販売元: 株式会社ジーフォース
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-3-1 マレ神田ビル9階

当社に無断で複写・転写・転載を禁じます Copyright © 2015 G FORCE, Inc. All Rights Reserved

H-6 INSTRUCTION MANUAL

Ver 1.01

目次

1.0 製品仕様	
1.1 H-6 GF送信機仕様	3
1.2 H-6 GF送信機特徴	3
2.0 各部名称	
2.1 フロントビュー	4
2.2 リアビュー	4
2.3 ファンクションキーについて	5
2.4 送信機に使用する電池について	5
2.5 送信機の電源を入れる際の注意点	6
2.6 液晶画面説明	6
3.0 システムメニュー	
3.1 モデルネーム	7
3.2 モデルセレクト	7
3.3 モデルコピー	7
3.4 モデルリセット	8
3.5 モデルタイプ	8
3.6 スロットルキャリブレーション	8
4.0 ヘリコプターファンクションメニュー	
4.1 リバーススイッチ	9
4.2 EPA	9
4.3 サブトリム	10
4.4 デュアルレート&エキスポネンシャル(D/R)	10
4.5 スロットルホールド	11
4.6 ジャイロゲイン	11
4.7 スロットルカーブ	11
4.8 ピッチカーブ	13
4.9 スワッシュミックス	14
4.10 レボリューションミックス	14
4.11 プログラムミックス1	15
4.12 プログラムミックス2	15
4.13 タイマー	16
4.14 モニター	16

1.0 製品仕様

1.1 H-6 送信機仕様

- (1) チャンネル数:6ch
- (2) 分解能:1024
- (3) 周波数帯:2.4GHz
- (4) 変調方式:GFSK
- (5) スペクトラム拡散方式:FHSS
- (6) ホッピングチャンネル数:20
- (7) ホッピングレート:毎秒240回
- (8) 出力:20dBm以下
- (9) 動作電流:150mA以下
- (10) 寸法:150×188×70mm
- (11) 重量:324g

1.2 H-6 送信機特徴

- (1) 2.4G FHSS
- (2) CCPMスワッシュ方式対応
- (3) デジタルトリム
- (4) スワッシュミックス
- (5) デュアルジャイロゲインセッティング
- (6) ピッチカーブスロットルカーブ設定可能
- (7) モデルメモリー10機、表示文字数10文字
- (8) バッテリーアラーム装備

2.0 各部名称

2.1 フロントビュー

- 1.アンテナ
- 2.ハンドル
- 3.アイドルアップスイッチ
- 4.D/Rスイッチ
- 5.電源LEDインジケータ
- 6.左スティック
- 7.エレベータートリム
- 8.ラダートリム
- 9.UP
- 10.DOWN
- 11.CLEAR
- 12.ストラップ取り付け穴
- 13.電源スイッチ
- 14.LCD画面
- 15.スロットルホールドスイッチ
- 16.ジャイロゲイン切替/
3軸・6軸モード切替スイッチ
- 17.右スティック
- 18.スロットルスティック
- 19.エルロントリム
- 20.INC
- 21.DEC
- 22.SELECT



2.2 リアビュー

- 1.乾電池ボックス
- 2.トレーナージャック



2.3 ファンクションキーについて

各種設定を行うために、SETUP画面を呼び出すには【SELECT】キーを押します。
設定画面を抜けるには、【CLEAR】キーを押します。



2.4 送信機に使用する電池について



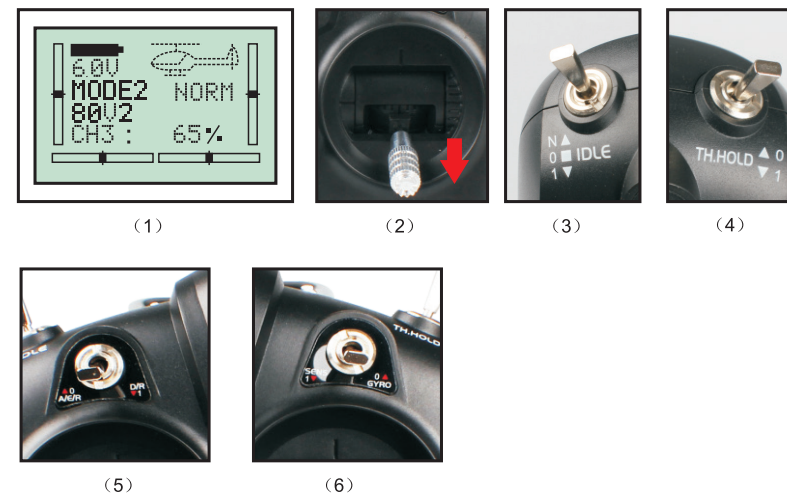
上記のように単三乾電池を向きに注意して入れてください。なお、充電電池は電圧が若干低いため、アルカリ乾電池を推奨します。



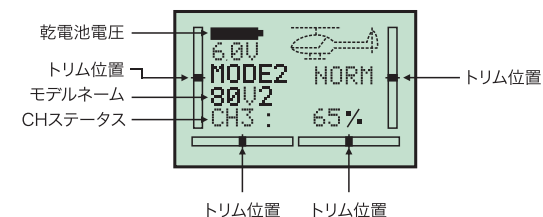
2.5 送信機の電源を入れる際の注意点

送信機の電源を入れる際は、必ず下記の通り各種スイッチが正しい位置にある必要があります。送信機のパイロットLEDランプが点滅し、アラーム音が鳴る場合は各種スイッチが間違った位置になっています。安全のための機構ですので、正しい手順をお守りください。

- (1) 乾電池の電圧が4V以下の場合には動作しません
- (2) 電源をONにする際、スロットルスティックが最スローになっている必要があります
- (3) 電源をONにする際、アイドルアップスイッチは【N】ポジションになっている必要があります
- (4) 電源をONにする際、スロットルホールドスイッチは【0】ポジションになっている必要があります
- (5) 電源をONにする際、デュアルレートスイッチは【0】ポジションになっている必要があります
- (6) 電源をONにする際、ジャイロスイッチは【0】ポジションになっている必要があります



2.6 電源ON後の液晶画面説明



3.0 システムメニュー

この項目は送信機自身の各種設定を行います。モデル名を変更したり、動作させる機体を選択します。

システムメニューを呼び出すには【SELECT】ボタンを押します。システムメニューを終了するには【CLEAR】ボタンを押します。

3.1 モデルネーム

モデル名を変更できます。新しい機体が増えた際など、最大10機分メモリーが可能です。この送信機にはあらかじめ【Itr80】=Intruder80、【100S】=Intruder100S、【80V2】=Intruder80V2がセットされています。

システムメニュー項目から【1.MDL NAME】を選択し、【SELECT】を押して任意のモデル名に変更します。【+ INC】【DEC -】キーで値を変更できます。

SYSTEM 1: MDL NAME 2: MDL SEL 3: MDL COPY 4: MDL RST	MODEL NAME MODEL 1 FHSS HELI NAME: < 100S > ↑
--	---

3.2 モデルセレクト

操縦するモデルを選択します。新規に作成したモデルは別項で詳細に設定が必要です。この送信機にはあらかじめ【Itr80】=Intruder80、【100S】=Intruder100S、【80V2】=Intruder80V2がセットされています。

システムメニュー項目から【2.MDL SEL】を選択し、【SELECT】を押して、任意のモデルを選択します。【INC +】【DEC -】キーでモデル名を変更できます。

SYSTEM 1: MDL NAME 2: MDL SEL 3: MDL COPY 4: MDL RST	MODEL SELECT MODEL 1 FHSS HELI NAME: < 100S >	MODEL SELECT MODEL 2 FHSS HELI NAME: < 80V2 >
--	--	--

3.3 モデルコピー

モデルメモリーのコピー機能です。同じような機体をセッティングするときに便利です。

システムメニューから【3.MDL COPY】を選びます。現在選択されているモデル名を、空いている任意のメモリー番号を選んでコピーできます。

SYSTEM 1: MDL NAME 2: MDL SEL 3: MDL COPY 4: MDL RST	MODEL COPY MODEL 1 FHSS HELI NAME: < 100S > ▶MODEL 2	MODEL COPY MODEL 1 FHSS HELI NAME: < 100S > ▶MODEL 3
--	--	--

3.4 モデルリセット

モデル名を変更できます。新しい機体が増えた際など、最大10機分メモリーが可能。この送信機にはあらかじめ【Itr80】=Intruder80、【100S】=Intruder100S、【80V2】=Intruder80V2がセットされています。

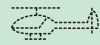

システムメニュー項目から【4.MDL RST】を選択し、【SELECT】を押して、リセットしたいモデルを確認します。再度【SELECT】を押すとリセットされます。

SYSTEM 1: MDL NAME 2: MDL SEL 3: MDL COPY 4: MDL RST	MODEL RESET MODEL 1 FHSS HELI NAME: < 100S > DATA RESE ?	MODEL RESET MODEL 1 FHSS HELI NAME: < 100S > DATA RESE ?
--	--	--

3.5 モデルタイプ

モデルタイプを設定します。【HELICOPTER】【AIRPLANE】を選択できます。【HELICOPTER】タイプのスワッシュ設定は90°、120°、140°、180°を選択できます。

システムメニュー項目から【5.MDL TYPE】を選択し、【INC/DEC】キーで選択したいスワッシュ設定値を選びます。

SYSTEM 5: MDL TYPE 6: STK TYPE 7: STK ADJ	PLANE TYPE MODEL 1  ▶3 Servos 140	PLANE TYPE MODEL 1  ▶3 Servos 120
--	---	---

3.6 スロットルキャリブレーション

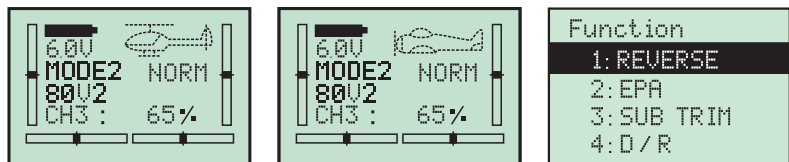
スロットルキャリブレーションは、スロットルセンターポジションに問題があった場合に調整します。

システムメニュー項目から【7:STK ADJ】を選択します。スロットルスティックを中立にした状態で【SELECT】を押すとキャリブレーションが完了します。

SYSTEM 5: MDL TYPE 6: STK TYPE 7: STK ADJ	STICK ADJUST AdJust stick ? YES: < INC& DEC >	STICK ADJUST AdJust stick ? YES: < INC& DEC > SET OK
--	---	---

4.0 ヘリコプターファンクションメニュー

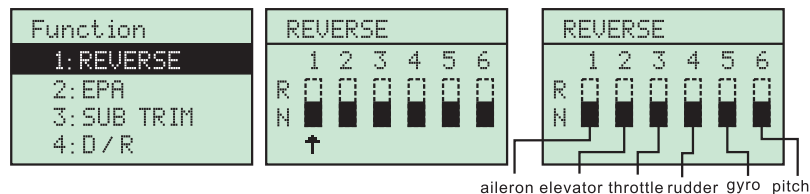
ヘリコプターの設定値を変更する際は、あらかじめ対象のヘリコプターを【MODEL SELECT】で選択しておきます。【HELICOPTER】項目と【AIRPLANE】項目がありますが、当説明書では【HELICOPTER】項目のみの説明となります。【FUNCTION】項目を選び、【SELECT】を押すことで各種項目を設定できます。



(1) Helicopter type (2) Airplane type (3) Helicopter Function Menu

4.1 リバーススイッチ

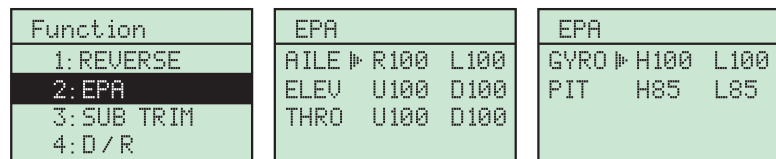
【1:REVERSE】:各CHの動作方向を決定します。【N】=Normal、【R】=Reverse となります。初期設定値を変更すると、正しくフライトできなくなるため、むやみに変更しないでください。



4.2 EPA

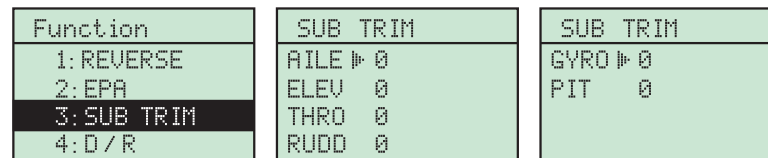
【2:EPA】:各サーボの動作範囲やジャイロゲインの変更ができます。

お好みに応じて設定値を変更できます。設定を変更する際は少しずつ様子を見ながら変更します。



4.3 サブトリム

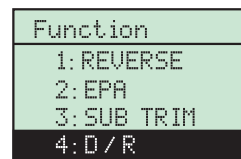
【3.SUB TRIM】を設定できます。工場出荷時設定値は全て【0】になっています。



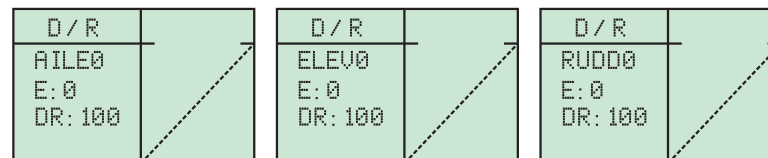
4.4 デュアルレート&エクスポネンシャル(D/R)

【4:D/R】を設定できます。サーボの動作範囲を2種類記憶させておくことができます。送信機D/Rスイッチに連動しています。【0】ポジションと【1】ポジションそれぞれに任意の数値を設定します。

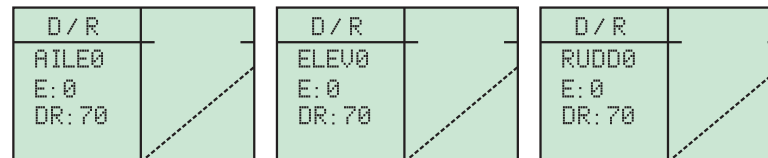
初期設定値は【0】=100、【1】=70 になっています。



(1) D/R switch at the "0" position



(2) D/R switch at the "1" position



4.5 スロットルホールド

【5:TH HOLD】を設定できます。通常時とスロットルカット動作の2ポジションです。
送信機D/Rスイッチに連動しています。【0】ポジションと【1】ポジションそれぞれに任意の数値を設定します。
初期設定値は【0】=0【1】= になっています。

Function	THRO.HOLD
5: TH HOLD	
6: GYRO SEN	▶ POS: 0
7: TH CURV	
8: PIT CURV	

4.6 ジャイロゲイン

ジャイロゲインを変更できます。ジャイロ感度切替えスイッチの位置によって設定します。
POS 0、POS 1、POS2それぞれ設定できます。

Function	GYRO SENCE
5: TH HOLD	▶ 50 POS0
6: GYRO SEN	50 POS1
7: TH CURV	
8: PIT CURV	

4.7 スロットルカーブ

5ポイントでスロットルカーブを設定できます。各ポイントでの設定値は【0-100】です。【L,1,2,3,H】の各位置はスロットル0%=L, 25%=1, 50%=2, 75%=3, 100%=Hとなります。Normal Mode, Idle Mode1, Idle Mode2 それぞれ設定できます。Idleup スイッチと連動しています。

(1) Normal mode

Function	THRO CURV	THRO CURV
5: TH HOLD	NOR	NOR
6: GYRO SEN	L: 0	1: 25
7: TH CURV	I: 0	I: 0
8: PIT CURV	O: 0	O: 0

THRO CURV	THRO CURV	THRO CURV
NOR	NOR	NOR
2: 60	3: 80	H: 100
I: 0	I: 0	I: 0
O: 0	O: 0	O: 0

(2) 1 Idle mode1

THRO CURV	THRO CURV	THRO CURV
IDLE1	IDLE1	IDLE1
L: 100	1: 95	2: 90
I: 0	I: 0	I: 0
O: 0	O: 0	O: 0

THRO CURV	THRO CURV
IDLE1	IDLE1
3: 95	H: 100
I: 0	I: 0
O: 0	O: 0

(3) Idle mode2

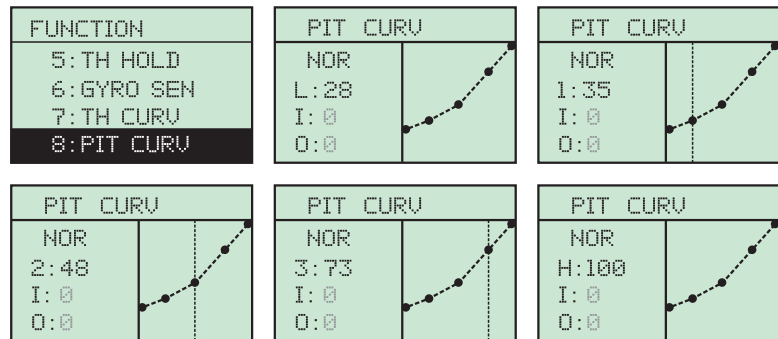
THRO CURV	THRO CURV	THRO CURV
IDLE2	IDLE2	IDLE2
L: 0	1: 25	2: 50
I: 0	I: 0	I: 0
O: 0	O: 0	O: 0

THRO CURV	THRO CURV
IDLE2	IDLE2
3: 75	H: 100
I: 0	I: 0
O: 0	O: 0

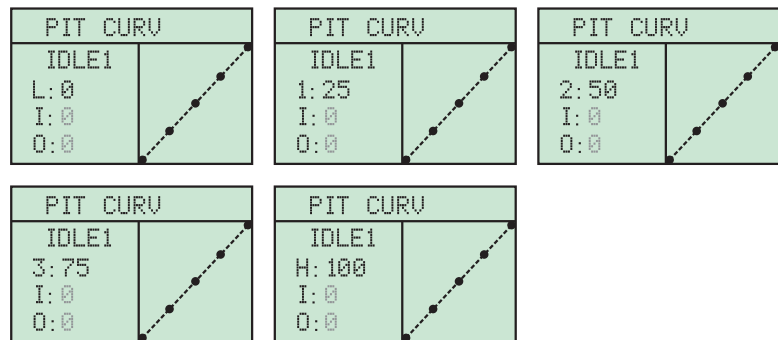
4.8 ピッチカーブ

5ポイントでピッチカーブを設定できます。各ポイントでの設定値は[0-100]です。[L,1,2,3,H]の各位置はスロットル0%=L, 25%=1, 50%=2, 75%=3, 100%=Hとなります。Normal Mode, Idle Mode1, Idle Mode2 それぞれ設定できます。Idleup スイッチと連動しています。

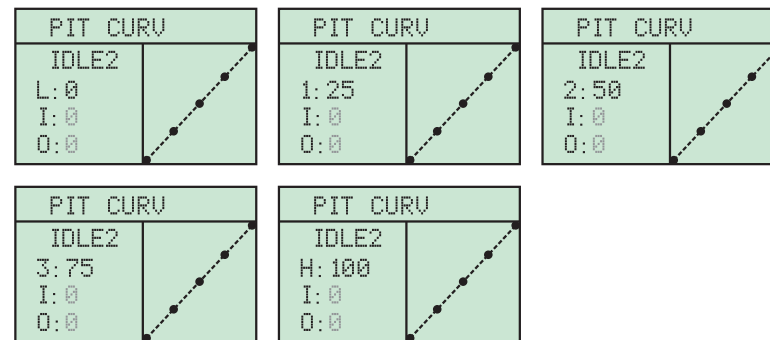
(1) Normal mode



(2) 1 Idle mode 1



(3) 2 Idle mode 2

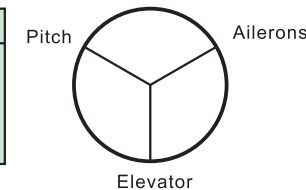


4.9 スワッシュミックス

スワッシュミキシングを設定できます。この機能はスタビライザー付きの機体向けですので、設定は不要です。

Function 9: SWASH MIX 10: REVO MIX 11: PRO MIX1 12: PRO MIX2
--

SWASH MIX ▶AILE: 30 PIT: -46 ELEV: -25 3 Servos 140



4.10 レボリューションミックス

レボリューションミックスはスロットル操作を急激に行った際のラダー(テールモーター)の調整項目です。スロットルを上げたり下げたりしたときにおける反転トルクを打ち消すためのミキシングです。設定値は-100~100の間で設定できます。

Function 9: SWASH MIX 10: REVO MIX 11: PRO MIX1 12: PRO MIX2
--

rpm MIX NOR IDLE ▶U 0 U 0 D 0 D 0
--

4.11 プログラムミックス 1

プログラムミックス1は任意の2つのCHにミキシングを設定できます。

Function 9: SWASH MIX 10: REVO MIX 11: PRO MIX1 12: PRO MIX2	PRO MIX1 AUX2 → AUX2 R: H 0 L 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX1 PIT → PIT R: H 0 L 0 SW: INH OFFSET: 0
PRO MIX1 GYRO → GYRO R: H 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX1 RUDD → RUDD R: R 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX1 THRO → THRO R: U 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0
PRO MIX1 ELEV → ELEV R: U 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX1 AILE → AILE R: R 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	

4.12 プログラムミックス 2

プログラムミックス2は任意の2つのCHにミキシングを設定できます。

Function 9: SWASH MIX 10: REVO MIX 11: PRO MIX1 12: PRO MIX2	PRO MIX2 AUX2 → AUX2 R: H 0 L 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX2 PIT → PIT R: H 0 L 0 SW: INH OFFSET: 0
PRO MIX2 GYRO → GYRO R: H 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX2 RUDD → RUDD R: R 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX2 THRO → THRO R: U 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0
PRO MIX2 ELEV → ELEV R: U 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	PRO MIX2 AILE → AILE R: R 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0	

4.13 タイマー

タイマー機能を使用することができます。設定範囲は秒～10分です。

Function 13: TIMER 14: MONITOR	TIMER INH — off 10: 00
TIMER UP-T 10: 00	TIMER DOWN-T 10: 00

UP-T :経過時間を表示します
DOWN-T:10分間カウントダウンしていきます

4.14 モニター

各サーボ、ジャイロ等のモニター機能です。スティックモードによって表示方法が異なります。MODE1はRight Throttleとなります。

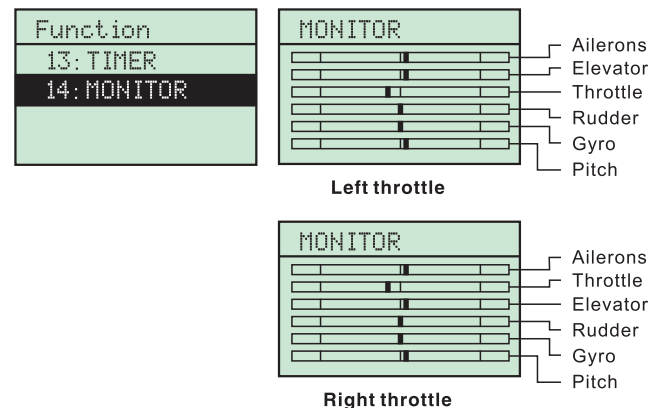


Table of Contents

1.0 Foreword	
1.1 Declaration	18
1.2 Safety notice	18
1.3 Pre-flight checklist	18
2.0 Features & specification	
2.1 H-6 transmitter specification	19
2.2 H-6 transmitter features	19
2.3 XY7000S receiver specifications	19
2.4 XY7000S receiver features	19
3.0 Function definition	
3.1 Front panel view	20
3.2 Rear view	20
3.3 Wiring diagram&binding	21
3.4 Function keys in panel	21
3.5 Stick mode switch	22
3.6 Left and Right-hand throttles	22
3.7 Battery installation	24
3.8 LED presentation capabilities	25
3.9 Boot interface	25
4.0 System menu	
4.1 Model name	26
4.2 Model select	26
4.3 Model copy	26
4.4 Model reset	27
4.5 Model type	27
4.6 Stick type	28
4.7 Throttle recalibration	28
5.0 Stick Recalibration	
5.1 Right stick recalibration	29
5.2 Left stick recalibration	30
6.0 Helicopter function menu	
6.1 Reverse switch	32
6.2 End point adjust	32
6.3 Sub trim	33
6.4 Dual rate and exponential	33
6.5 Throttle hold	34
6.6 Gyro sense	34
6.7 Throttle curve	35
6.8 Pitch curve	36
6.9 Swash mix	37
6.10 Revolution mix	38
6.11 Program mix1	38
6.12 Program mix2	39
6.13 Timer	39
6.14 Monitor	40
7.0 Airplanes function menu	
7.1 reverse switch	41
7.2 End point adjustment(EPA)	41
7.3 Sub trim	42
7.4 Dual rate and exponential	42
7.5 Throttle hold	43
7.6 Flap mix to aileron mix	44
7.7 Elevator mix & aileron mix	44
7.8 Aileron mix	44
7.9 V-tail mix	45
7.10 Aileron mix & elevator mix	45
7.11 Program mix	45
7.12 Channel setting	46
7.13 Timer	46
7.14 Monitor	47

1.0 Foreword

1.0 Declaration

- (1) This product is designed for experienced pilots aged 14 years or older.
- (2) The user should operate the radio controlled aircraft at a legal, designated field.
- (3) HiSKY accepts no responsibility for damage or injury caused by mis-operation, mis-use or mis-control after purchase.
- (4) If assistance is required, please contact the distributor or our customer service representatives.

1.2 Safety notice

- (1) Follow the guidelines specified in this manual
Do not modify this transmitter in any way unless specified by this manual.
- (2) Safe operation
Operate this device depending on your own skill level and your health status; refrain from using this product if you feel feeble or fatigued. Do not operate this device under the influence of drugs or alcohol.
- (3) Flying location
Despite being highly reliable and advanced products, mechanical and electronic failures may still happen. Do not operate the model aircraft in close proximity to people and other obstacles; refrain from flying in adverse weather or at night to avoid hurting yourself or bystanders.
- (4) Humidity
This product is made of highly complicated electronic and mechanical components, keep the product in a dry environment and avoid humidity to avoid electrical and/or mechanical damage.
- (5) Heat
Avoid heat exposure; heat may cause electronic and mechanical components to warp or fail, do not expose this product to excessive heat to prevent failure.

1.3 Pre-flight checklist

- (1) Ensure that the battery packs on both the transmitter and receiver/aircraft are fully charged prior to flight
- (2) Ensure that the throttle stick and the throttle trim are at their lowest positions prior to operation.
- (3) The transmitter must be turned on prior to powering on the aircraft. To end your flight, unplug the aircraft battery before turning the transmitter off. An incorrect order of connection or disconnection may cause the loss of control of your aircraft.

2.0 Features and specifications

2.1 H-6 transmitter specification

- (1) Channels:6
- (2) Resolution:1024
- (3) Frequency:2.4GHz ISM frequency range
- (4) Modulation:GFSK
- (5) Spread spectrum mode: FHSS
- (6) Number of frequency channels:20
- (7) Hopping rate:240jump/s
- (8) Output power:<=20dBm
- (9) Working current:<=150mA
- (10) Dimensions: 150mmx188mmx70mm
- (11) Net weight:324g

2.2 H-6 transmitter features

- (1) 2.4G FHSS technology
- (2) Work with CCPM helicopters,airplanes,etc.
- (3) Digital trim
- (4) Swash mix
- (5) Dual gyro gain settings
- (6) Sports throttle curve
- (7) Customer name with10 letters and 10 memories
- (8) Low power alarm

2.3 XY7000S receiver specifications

- (1) Channels:7
- (2) Frequency: 2.4GHz ISM frequency range
- (3) Modulation: PCM
- (4) Spread spectrum mode: FHSS
- (5) Operation voltage: 4.5-5.5V
- (6) Operation current: ≤30mA
- (7) Net weight: 11.5g
- (8) Product size: 41mm x 28mm x 14mm

2.4 XY7000S receiver features

- (1) 2.4GHz FHSS technology
- (2) High reception sensitivity, high resistance to interference

3.0 Function definition

3.1 Front panel view

1. Antenna
2. Handle
3. Helicopter mode: IDLE (N/0/1)
Airplane mode: CH6 Flap (N/0)
4. D/R(Aile Elve Rudd)
5. LED
6. Left stick
7. Digital trim
8. Digital trim
9. UP
10. DOWN
11. CLEAR
12. Eyelet
13. Power
14. LCD
15. Throttle hold
16. Helicopter mode: Gyro gain
Airplane mode: CH5 Undercarriage
Accelerometer toggle
17. Right stick
18. Digital trim
19. Digital trim
20. INC
21. DEC
22. SELECT



3.2 Rear view

1. Screw 1
2. Screw 2
3. Screw 3
4. Screw 4
5. Trainer port/DSC
6. Battery case cover



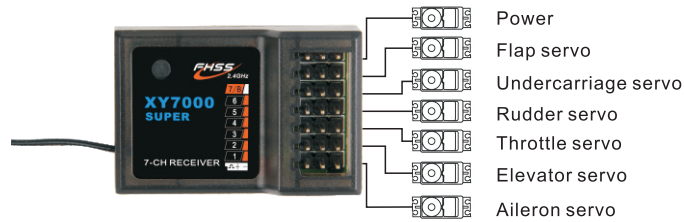
3.3 Wiring diagram and binding procedure

Binding:

Switch on the transmitter, reduce throttle to its lowest position and make sure the alarm is off when powering on the receiver/aircraft. Press the bind button (if applicable) until the green light turns solid, signaling binding success.

Caution:

While binding, place the transmitter and receiver antennas in close proximity if possible; make sure that there are no similar devices on bind mode within approximately 10 meters. If the light flashes after the binding procedure is complete, retry the binding procedure again until the light turns solid.



3.4 Function keys in panel

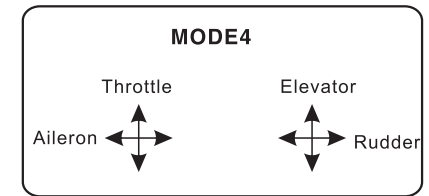
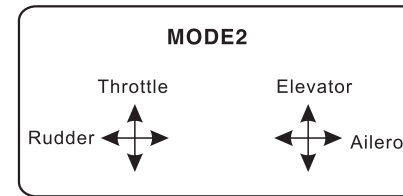
There are 6 function keys in panel of H-6. Details below:



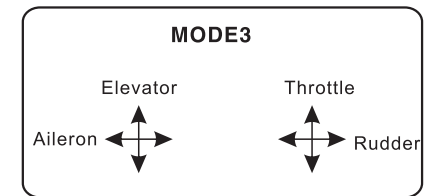
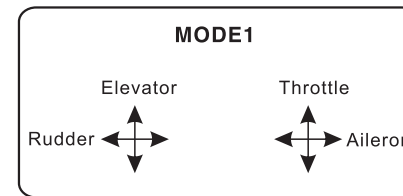
3.5 Stick mode switch

There are 4 stick modes from Mode1 through Mode 4. The throttle channel is on the left with Modes 2 and 4, and on the right with Modes 1 and 3. A configuration diagram is shown below.

Throttle on the left



Throttle on the right

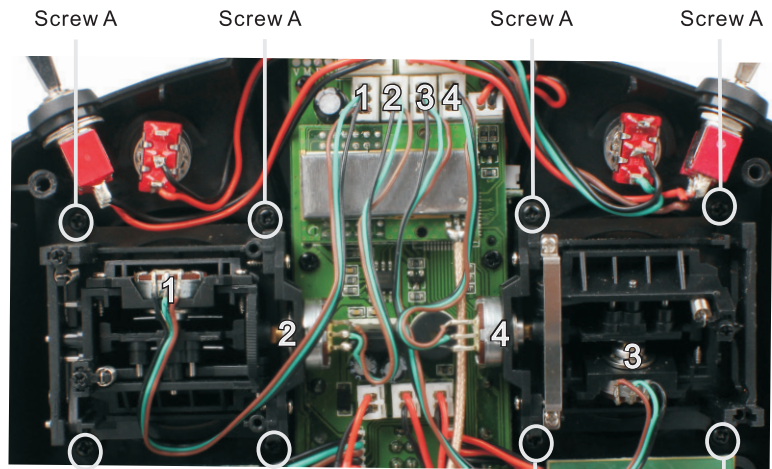


3.6 Left and Right-hand throttles

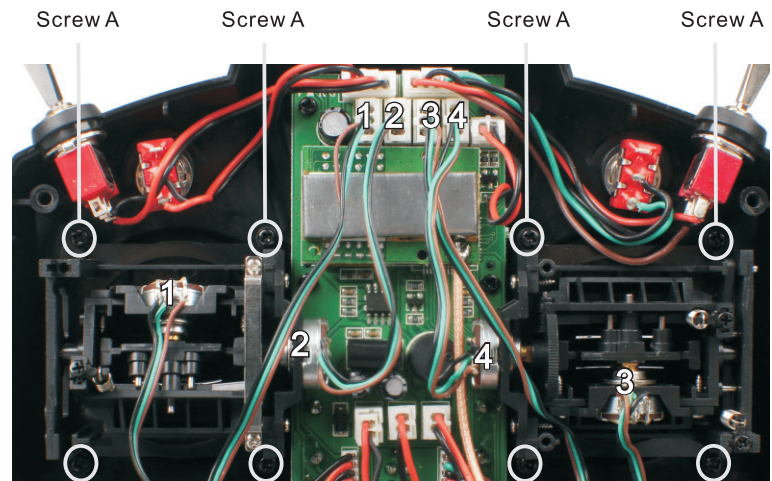
Switching between left and right- handed throttle modes requires both a mechanical and electronic switch.

(1) Mechanical step

To switch the throttle stick from the left column to the right (or vice versa), a mechanical modification needs to be made: Remove the 4 screws and rear cover to expose the base plate. The photo below shows the internal views of right and left throttle setup. Using a phillips screwdriver, loosen and remove Screw A to adjust the throttle mode, then replace the "A" screws. Potentiometer cable connection in the corresponding positions are shown below. Replace the rear cover when the mechanical switch is completed.



Left throttle stick

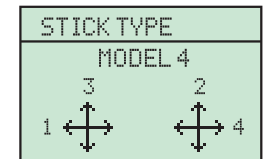
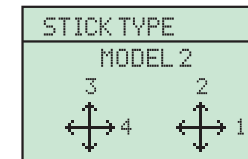
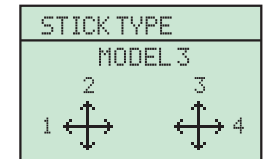
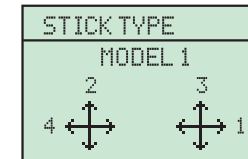
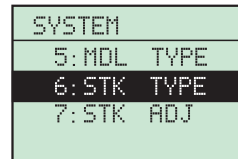


Right throttle stick

(2) Electronic adjustment

Press the "SELECT" button and enter the stick type menu; toggle between modes 1-4 by pressing the INC/DEC buttons

Ensure that both the electronic and mechanical steps have been completed before operation



Caution:

The throttle stick is located on the left for modes 2 and 4 on the right for modes 1 and 3

3.7 Battery installation

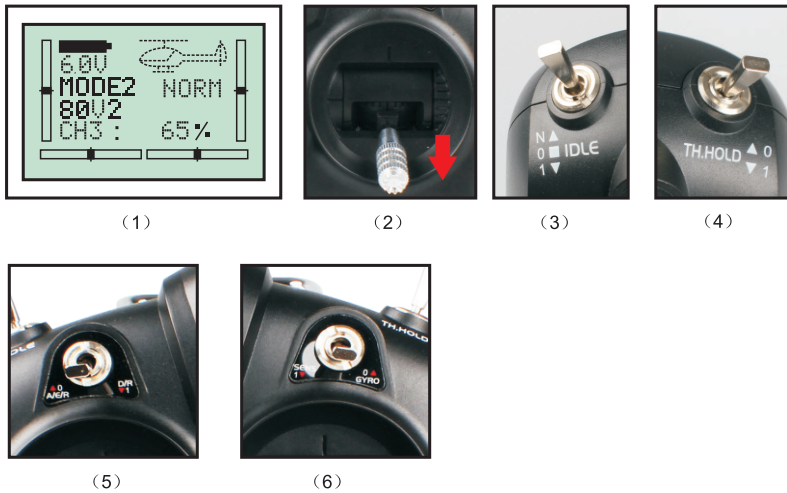


Battery installation diagram:

3.8 LED Presentation capabilities

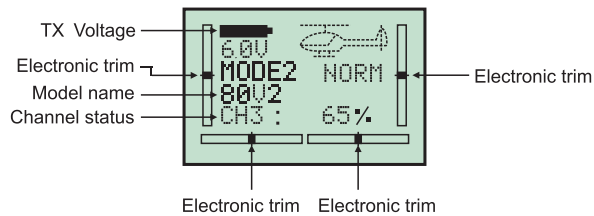
In normal operation, when the LED light shows white, it means the transmitter is working properly. If the LED is flashing and alarm audible, please check and satisfy the following condition.

- (1) Voltage is not less than 4V.
- (2) Ensure the throttle is at the bottom position when switch on the transmitter.
- (3) Ensure the IDLE position switch is at "N" position before operation.
- (4) Ensure the TH.HOLD position switch is at "0" position before operation.
- (5) Ensure the D/R position switch is at "0" position before operation.
- (6) Ensure the GYRO position switch is at "0" position before operation.



3.9 Boot interface

Boot interface as picture:



4.0 System menu

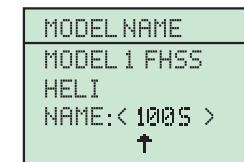
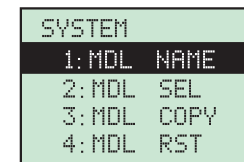
This section describes the setting which are specific to the operation of the H-6 itself.

To enter the system menu, press the "SELECT" button; to exit, press the "CLEAR" button

4.1 Model name

In the "NAME" setting, there is a word set which is comprised of 5 bytes which you can edit or rename the model name of your own choosing.

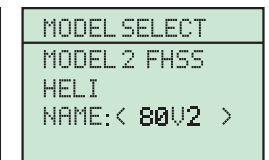
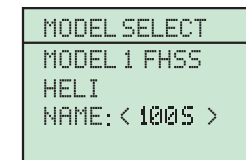
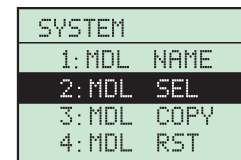
Press "SELECT" and enter the system menu by again pressing the select button. Select MDL -NAME and use the SELECT/INC/DEC buttons to switch between letters, numbers or symbols. Once completed, press "CLEAR" to exit.



4.2 Model select

Model select: You can select each type from the HiSKY stored options, or your own custom settings.

Enter the system menu by pressing "SELECT". Find the MDL SEL function and press INC/DEC to toggle between models. Press clear once confirmed to exit.



4.3 Model copy

the function which you can copy the model type or data from one group to another.

Under the system menu, select the MDL COPY function. Press INC/DEC to select between models that you would like to copy, then press the "SELECT" button to confirm. Once completed, press the "CLEAR" button to exit.

SYSTEM
1:MDL NAME
2:MDL SEL
3:MDL COPY
4:MDL RST

MODEL COPY
MODEL 1 FHSS
HELI
NAME: < 1005 >
▶MODEL 2

MODEL COPY
MODEL 1 FHSS
HELI
NAME: < 1005 >
▶MODEL 3

4.4 Model reset

Reset all options to factory settings when data confusion caused by improper operation.

Under the system menu, select the MDL RESET function and press select to enter the reset menu. Press "SELECT" to confirm.

SYSTEM
1:MDL NAME
2:MDL SEL
3:MDL COPY
4:MDL RST

MODEL RESET
MODEL 1 FHSS
HELI
NAME: < 1005 >
DATA RESE ?


MODEL RESET
MODEL 1 FHSS
HELI
NAME: < 1005 >
DATA RESE ?


4.5 Model type

Model types are divided into "HELICOPTER" and "AIRPLANE". The "HELICOPTER" type may subdivide for 90°swash plate , 120°swash plate, 140°swash plate, 180°swash plate

Under the system menu, select the MDL TYPE function, press INC/DEC to select your desired model type, then press "CLEAR" to exit.

SYSTEM
5:MDL TYPE
6:STK TYPE
7:STK ADJ

PLANE TYPE
MODEL 1

▶3 Servos 140

PLANE TYPE
MODEL 1

▶3 Servos 120

4.6 Stick type

There are 4 stick modes including MODE1, MODE2, MODE3 and MODE4.

Under the system menu, select the STK TYPE function, press INC/DEC to select the control type, then press "CLEAR" to exit.

SYSTEM
5:MDL TYPE
6:STK TYPE
7:STK ADJ

STICK TYPE
MODEL 1
2 3
4 ← → 1

STICK TYPE
MODEL 2
3 2
4 ← → 1

STICK TYPE
MODEL 3
2 3
1 ← → 4

STICK TYPE
MODEL 4
3 2
1 ← → 4

4.7 Throttle recalibration

Throttle calibration is about the throttle center position calibration.

Under the system menu, select the STK ADJ function, center your throttle column and press "SELECT" to reset the throttle midpoint. Press select to confirm, clear to exit.

SYSTEM
5:MDL TYPE
6:STK TYPE
7:STK ADJ

STICK ADJUST
AdJust stick ?
YES: < INC& DEC >

STICK ADJUST
AdJust stick ?
YES: < INC& DEC >
SET OK

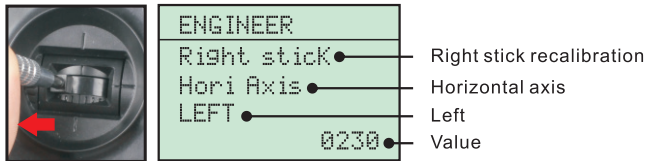
5.0 Stick Recalibration

Stick calibration is about the stick travel and center position calibration

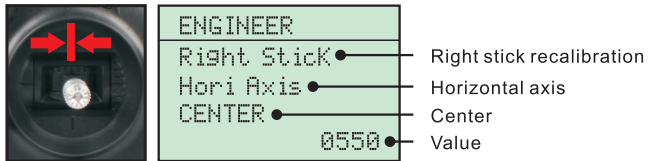
Press both "SELECT" and "INC" buttons simultaneously, then switch on the radio to enter the "ENGINEER" menu. Press both "UP" and "DOWN" buttons to exit after.

5.1 Right stick recalibration

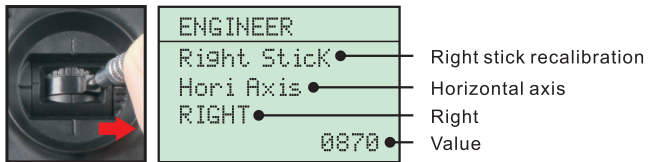
First step: push the right stick horizontally to the left end. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the second step.



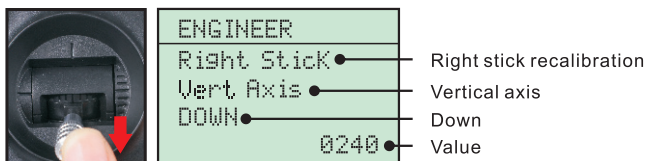
Second step: push the right stick back to the center position. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the third step.



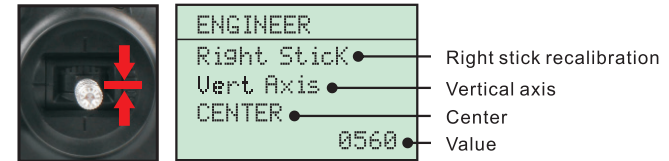
Third step: push the right stick horizontally to the right end. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the fourth step.



Fourth step: pull the right stick vertically down to the bottom. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the fifth step.



Fifth step: push the right stick back to the center position. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the sixth step.

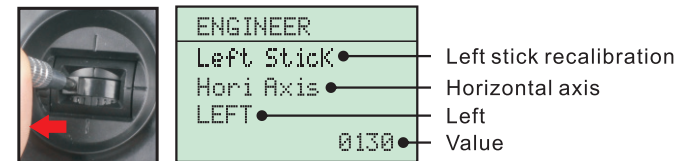


Sixth step: push the right stick vertically up to the top. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the left stick recalibration step.

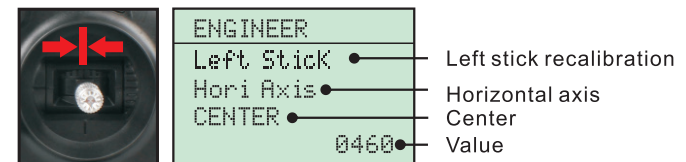


5.2 Left stick recalibration

First step: push the left stick horizontally to the left end. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the second step.



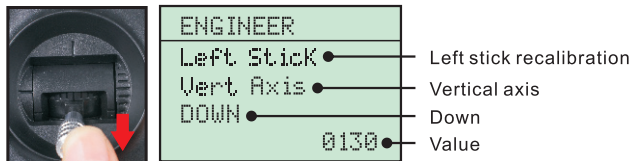
Second step: push the left stick back to the center position. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the third step.



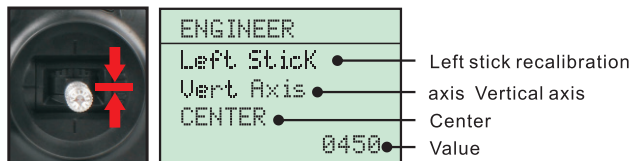
Third step: push the left stick horizontally to the right end. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the fourth step.



Fourth step: pull the left stick vertically down to the bottom. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the fifth step.



Fifth step: push the left stick back to the center position. Press "SELECT" button to confirm, press "DOWN" to the sixth step.



Sixth step: push the right stick vertically up to the top. Press "SELECT" button to confirm, Press both "UP" and "DOWN" buttons to exit after setting finished.



6.0 Helicopter Function Menu

Helicopter function menu manage all of the helicopter data saved in H-6. Follow step 4.5 to enter the helicopter system setting menu, then press "CLEAR" button to exit to the function menu, as picture (1) below. Press "SELECT" button again to enter the helicopter function menu, as picture (3) below.

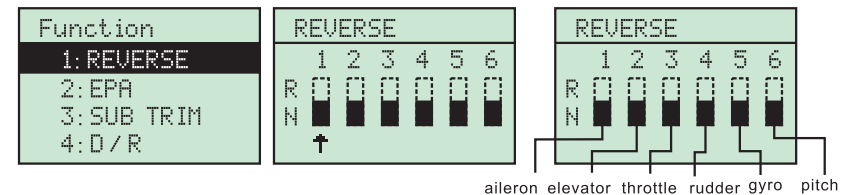


(1) Helicopter type (2) Airplane type (3) Helicopter Function Menu

6.1 Reverse switch

Reverse switch: If the actual output direction opposes the desired with the instruction, this setting can correct it

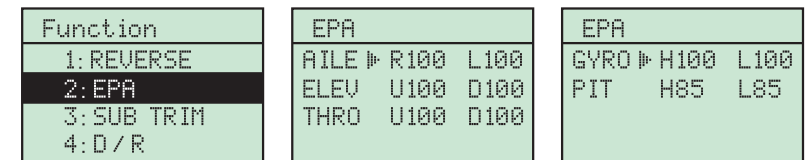
Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "REVERSE" and press the "SELECT" to enter the "REVERSE" menu. Press "SELECT" to move the cursor to select the option will be reversed. Then press "DEC" or "INC" to select R/N. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.



6.2 EPA

End point adjust is the master control of how much the transmitter will let a servo move. It's the master 'throw' adjustment for the channel

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "TRAVEL" and press the "SELECT" to enter the "TRAVEL" menu. Press "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.



6.3 Sub trim

This is a trim function on many computer radios, allowing trim function during set-up, and still allowing the full trim function in flight, the factory default data is "0".

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "SUB TRIM" and press the "SELECT" to enter the "SUB TRIM" menu. Press "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

Function	SUB TRIM	SUB TRIM
1: REVERSE	AILE ▸ 0	GYRO ▸ 0
2: EPA	ELEV 0	PIT 0
3: SUB TRIM	THRO 0	
4: D/R	RUDD 0	

6.4 Dual rate and exponential(D/R)

D/R is a switch that can make controls more or less sensitive. When the D/R position switch at the "0" position, servos move 100%; when the D/R position switch at the "1" position, servos move 70%.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "D/R" and press the "SELECT" to enter the "D/R" menu. Press "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

Function
1: REVERSE
2: EPA
3: SUB TRIM
4: D/R

(1) D/R switch at the "0" position

D/R		D/R		D/R	
AILE 0		ELEV 0		RUDD 0	
E: 0		E: 0		E: 0	
DR: 100		DR: 100		DR: 100	

(2) D/R switch at the "1" position

D/R		D/R		D/R	
AILE 0		ELEV 0		RUDD 0	
E: 0		E: 0		E: 0	
DR: 70		DR: 70		DR: 70	

6.5 Throttle hold

Throttle hold: A function which locks the throttle at a fixed point while a switch is activated. When the "TH HOLD" position switch at the "0" position, the throttle is in a normal operation; when the TH HOLD position switch at the "1" position, the throttle is hold in an idle.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "TH. HOLD" and press the "SELECT" to enter the "TH. HOLD" menu. Then press "DEC" or "DOWN" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

Function	THRO.HOLD
5: TH HOLD	
6: GYRO SEN	▸ POS: 0
7: TH CURV	
8: PIT CURV	

6.6 Gyro gain

Gyro gain: Used to activate each rate of a dual rate gyro based on switch position. The factory default data is "50".

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "GYRO SEN" and press the "SELECT" to enter the "GYRO SEN" menu. Press "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

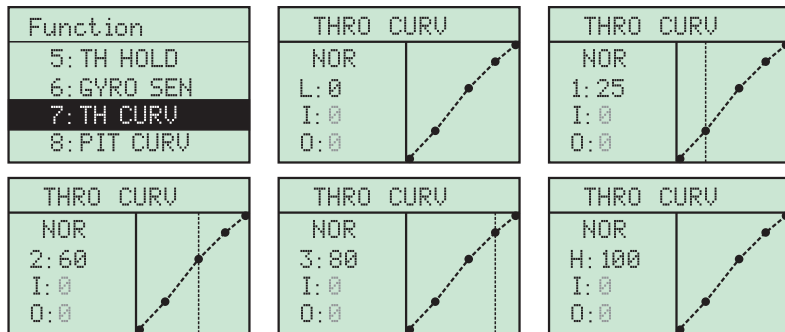
Function	GYRO SENCE
5: TH HOLD	
6: GYRO SEN	▸ 50 POS0
7: TH CURV	50 POS1
8: PIT CURV	

6.7 Throttle curve

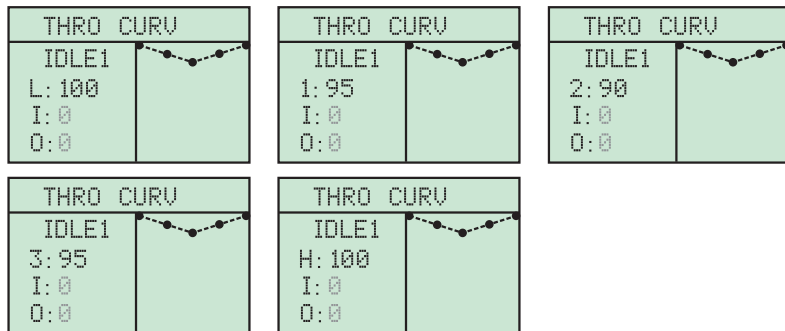
Made up a 5 points, throttle operation will be adjusted by adjusting the data of each point, to meet the modeler's specific needs.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "TH CURV" and press the "SELECT" to enter the "TH CURV" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

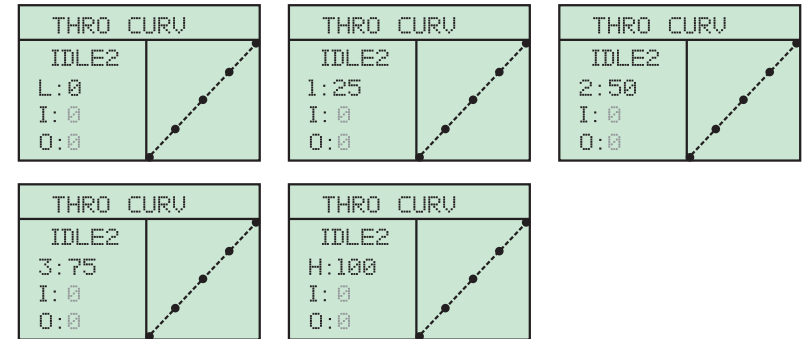
(1) Normal mode



(2) 1 Idle mode1



(3) Idle mode2

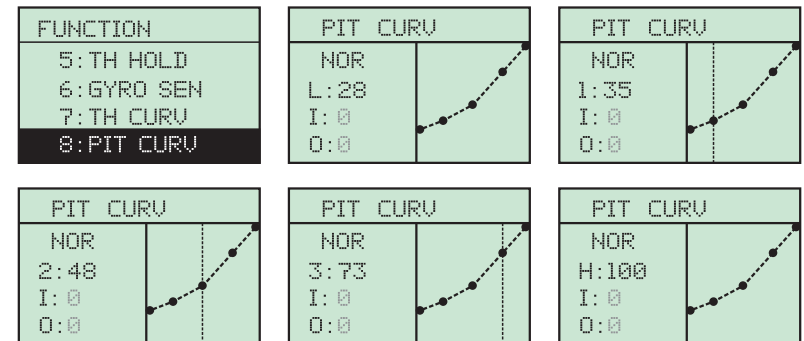


6.8 Pitch curve

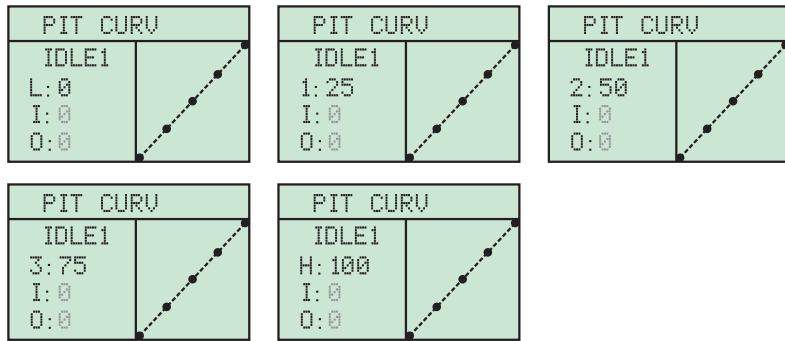
Made up a 5 points, throttle operation will be adjusted by adjusting the data of each point, to meet the modeler's specific needs.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "PIT CURV" and press the "SELECT" to enter the "PIT CURV" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

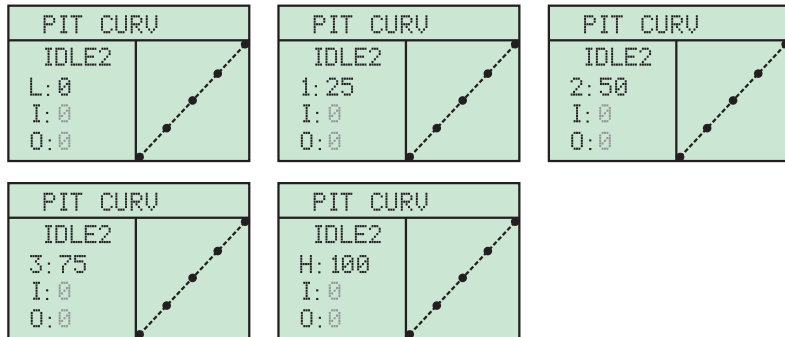
(1) Normal mode



(2) 1 Idle mode 1



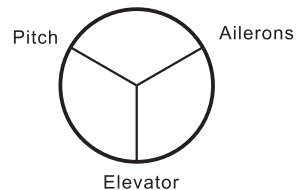
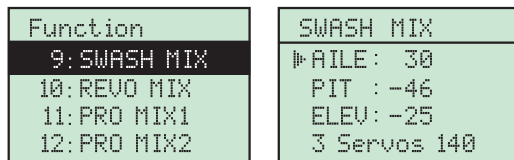
(3) 2 Idle mode 2



6.9 Swash mix

Swash mix including "AILE" (ailerons), "PIT" (pitch) and "ELEV" (elevator).

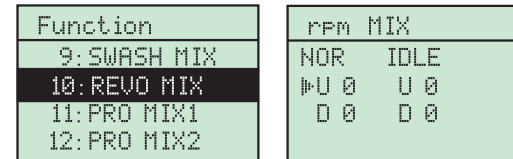
Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "SWASH MIX" and press the "SELECT" to enter the "SWASH MIX" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data, Press "CLEAR" button to exit when setting finished.



6.10 Revolution Mix

The function of the radio which mixes throttle to rudder, preventing unwanted yaw of the helicopter during sudden throttle increase or decrease.

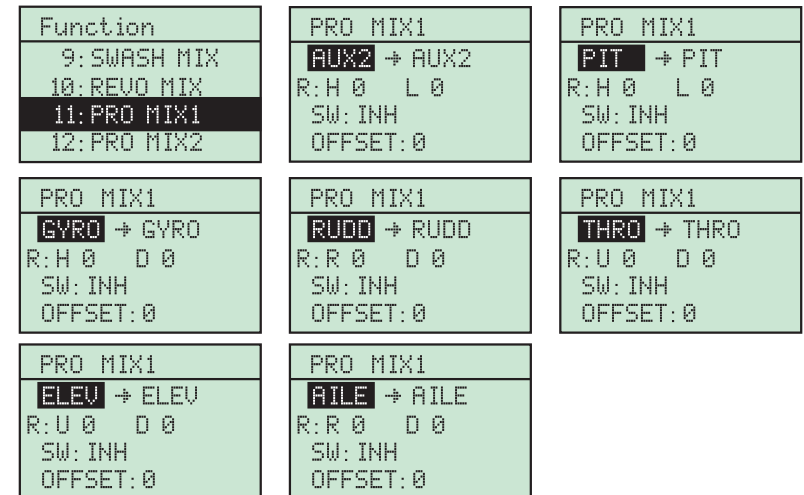
Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "REVO MIX" and press the "SELECT" to enter the "REVO MIX" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.



6.11 Program Mix 1

Used to cause specific servo responses to specific inputs separate from the basic control set-ups.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "PRO MIX1" and press the "SELECT" to enter the "REVO MIX1" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.



6.12 Program Mix 2

Used to cause specific servo responses to specific inputs separate from the basic control set-ups.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "PRO MIX2" and press the "SELECT" to enter the "PRO MIX2" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

<pre>Function 9: SWASH MIX 10: REVO MIX 11: PRO MIX1 12: PRO MIX2</pre>	<pre>PRO MIX2 AUX2 + AUX2 R: H 0 L 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>	<pre>PRO MIX2 PIT + PIT R: H 0 L 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>
<pre>PRO MIX2 GYRO + GYRO R: H 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>	<pre>PRO MIX2 RUDD + RUDD R: R 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>	<pre>PRO MIX2 THRO + THRO R: U 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>
<pre>PRO MIX2 ELEV + ELEV R: U 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>	<pre>PRO MIX2 AILE + AILE R: R 0 D 0 SW: INH OFFSET: 0</pre>	

6.13 Timer

Timer: for setting the flight time.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "TIMER" and press the "SELECT" to enter the "TIMER" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished. Back to the boot interface press "INC" to start timing, press "INC" to pause.

<pre>Function 13: TIMER 14: MONITOR</pre>	<pre>TIMER INH ——— off 10: 00</pre>
---	-------------------------------------

<pre>TIMER UP-T 10: 00</pre>	<pre>TIMER DOWN-T 10: 00</pre>
------------------------------	--------------------------------

UP-T: count from 00:00 to 10:00
DOWN-T: count from 10:00 to 00:00

6.14 Monitor

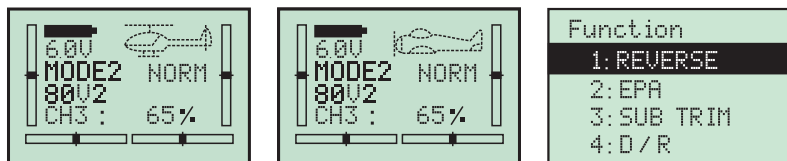
Monitor: for checking the travel data of each channel.

Press "SELECT" button to enter the helicopter function menu, find the "MONITOR" and press the "SELECT" to enter the "MONITOR" menu. when you operate the stick, the channel will be changed accordingly. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

<pre>Function 13: TIMER 14: MONITOR</pre>	<pre>MONITOR</pre> <p>Left throttle</p>
	<pre>MONITOR</pre> <p>Right throttle</p>

7.0 Airplane function menu

Airplane function menu manages all of the Airplane data saved in the H-6. Follow the step 4.5 to enter the Airplane system setting menu, then Press “ CLEAR” button to exit to the function menu, as picture (2) below. Press “ SELECT” button simultaneously again to enter the Airplane function menu, as picture (3) below.

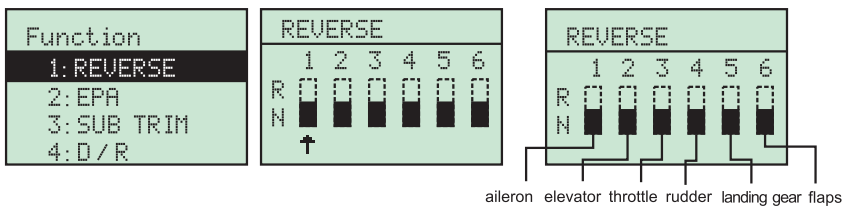


(1) Helicopter type (2) Airplane type (3) Airplane Function Menu

7.1 Reverse switch

Reverse switch: If the actual output direction opposes the desired output, this setting can reverse the direction of travel.

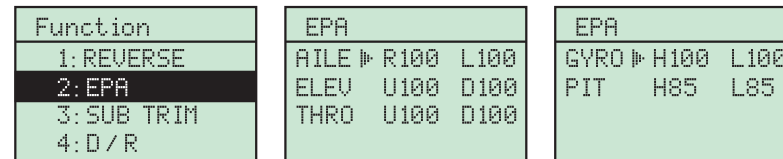
Press “ SELECT” button to enter the airplane function menu, find the “REVERSE” and press the “SELECT” to enter the “REVERSE” menu. Press “SELECT” to move the cursor to select the option will be reversed. Then press “DEC” or “INC” to select R/N. Press “ CLEAR” button to exit when setting finished.



7.2 End point adjustment (EPA)

End point adjustment is the master control of how much the H-6 will let the servo or channel move. It's the master 'throw' adjustment for the channel.

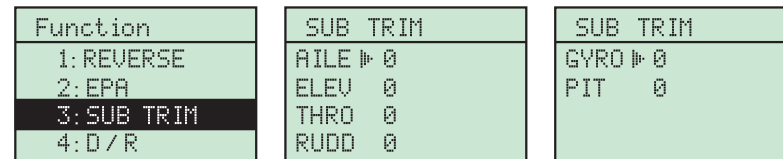
Press “ SELECT” button to enter the Airplane function menu, find the “TRAVEL” and press the “SELECT” to enter the “TRAVEL” menu. Press “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR” button to exit when setting finished.



7.3 Sub trim

This is a trim function on many computer radios, allowing trim function during set-up, and still allowing the full trim function in flight, the factory default data is “0”.

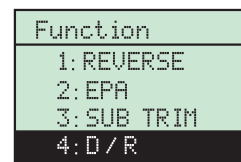
Press “ SELECT” button to enter the Airplane function menu, find the “SUB TRIM” and press the “SELECT” to enter the “SUB TRIM” menu. Press “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR” button to exit when setting finished.



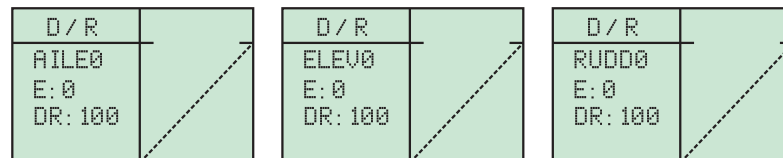
7.4 Dual rate and exponential(D/R)

D/R is a switch that can make controls more or less sensitive. When the D/R position switch at the “0” position, servos moves within 100% of its physical limit; when the D/R position switch at the “1” position, servos has within 70% travel.

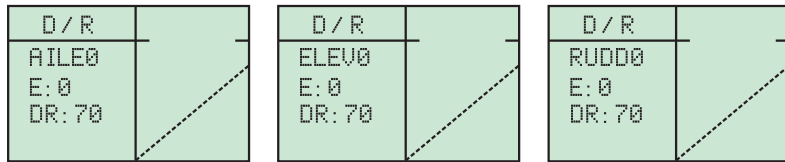
Press “ SELECT” button to enter the Airplane function menu, find the “D/R” and press the “SELECT” to enter the “D/R” menu. Press “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR” button to exit when finished with the setup.



(1) D/R switch at the "0" position



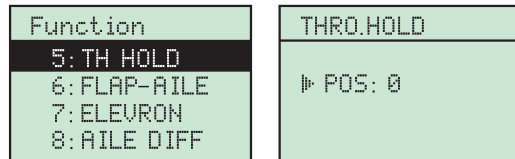
(2) D/R switch at the "1" position



7.5 Throttle hold

Throttle hold: A function which locks the throttle at a fixed point while a switch is activated. When the "TH HOLD" position switch at the "0" position, the throttle is in a normal operation; when the TH HOLD position switch at the "1" position, the throttle is hold in an idle.

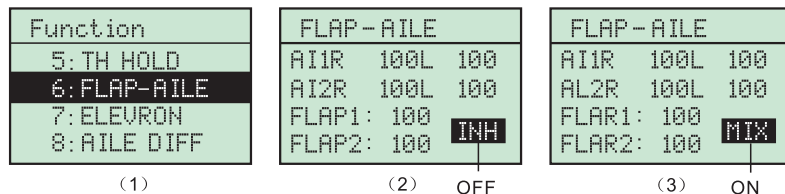
Press "SELECT" button to enter the airplane function menu, find the "TH. HOLD" and press the "SELECT" to enter the "TH. HOLD" menu. Then press "DEC" or "DOWN" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.



7.6 Flap Mix to Aileron Mix

This function permits mixing of the aileron and flag channels.

Press "SELECT" button to enter the airplane function menu, find the "FLAG-AILE" and press the "SELECT" to enter the "FLAG-AILE" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

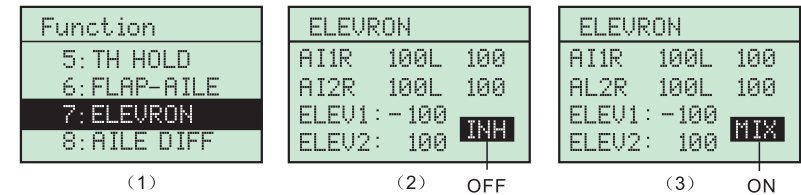


AI1R refer to aileron 1, AI2R refer to aileron 2. Flap Mix to Aileron Mix function off shown as Fig.(2), Flap Mix to Aileron Mix function on shown as Fig.(3)

7.7 Elevator mix to aileron mix

This function permits mixing of the elevator and aileron channels.

Press "SELECT" button to enter the airplane function menu, find the "ELEVATOR" and press the "SELECT" to enter the "ELEVATOR" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

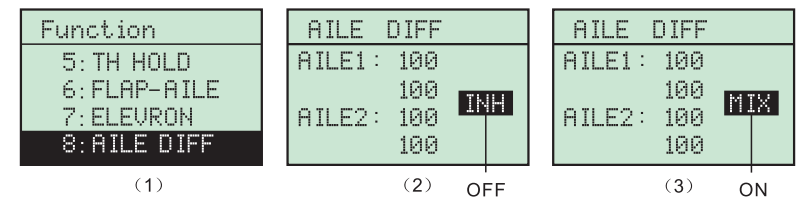


AI1R refer to aileron 1, AI2R refer to aileron 2. Elevator mix to aileron mix function off shown as Fig.(2), Elevator mix to aileron mix function on shown as Fig.(3)

7.8 Aileron mix

This function permits mixing of the aileron channel.

Press "SELECT" button to enter the airplane function menu, find the "AILE DIFF" and press the "SELECT" to enter the "AILE DIFF" menu. Press button "SELECT" to move the cursor. Then press "DEC" or "INC" to set the data. Press "CLEAR" button to exit when setting finished.

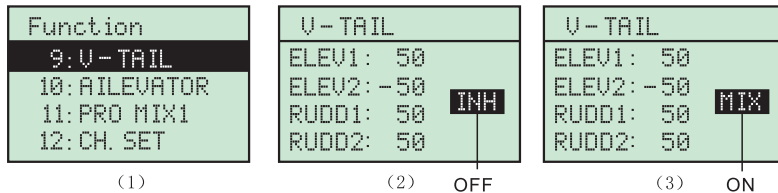


Aileron mix function off shown as Fig.(2), Aileron mix function on shown as Fig.(3)

7.9 V-tail mix

Used on a V-tail model to have 2 servos operate 2 control surfaces as both rudder and elevator.

Press “ SELECT ” button to enter the airplane function menu, find the “V-TAIL” and press the “SELECT” to enter the “V-TAIL” menu. Press button “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR ” button to exit when setting finished.

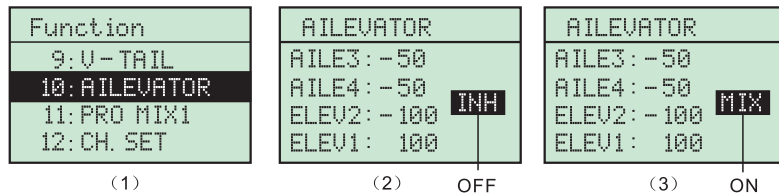


V-tail mix function off shown as Fig.(2), V-tail mix function on shown as Fig.(3)

7.10 Aileron mix & elevator mix

This function permits mixing of the aileron and elevator channels.

Press “ SELECT ” button to enter the airplane function menu, find the “AILEVATO” and press the “SELECT” to enter the “AILEVATO” menu. Press button “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR ” button to exit when setting finished.

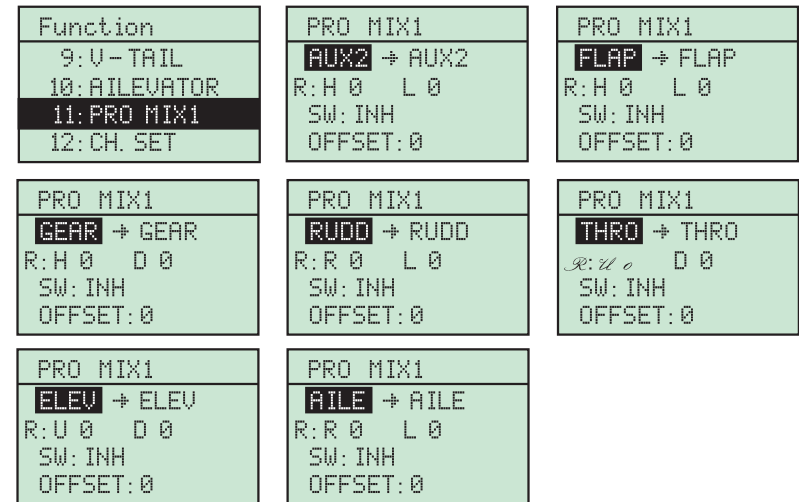


Aileron mix & elevator mix function off shown as Fig.(2), Aileron mix & elevator mix function on shown as Fig.(3)

7.11 Program Mix

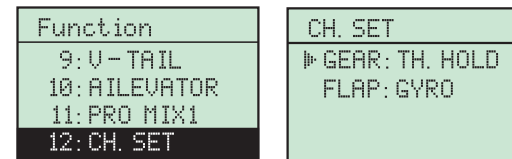
Used to cause specific servo responses to specific inputs separate from the basic control set-ups.

Press “ SELECT ” button to enter the Airplane function menu, find the “PRO MIX1” and press the “SELECT” to enter the “PRO MIX1” menu. Press button “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR ” button to exit when setting finished.



7.12 Channel setting

Press “ SELECT ” button to enter the Airplane function menu, find the “CH. SET” and press the “SELECT” to enter the “CH. SET” menu. Press button “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR ” button to exit when setting finished.



7.13 Timer

Timer: for setting the flight time.

Press “ SELECT ” button to enter the helicopter function menu, find the “TIMER” and press the “SELECT” to enter the “TIMER” menu. Press button “SELECT” to move the cursor. Then press “DEC” or “INC” to set the data. Press “ CLEAR ” button to exit when setting finished. Back to the boot interface press “INC” to start timing, press “INC” to pause.

